

昭和58年度

(第11回)

農地水資源開発コース
実施要領

昭和58年7月

国際協力事業団
研修事業部



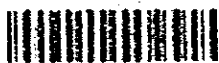
TA
JR
83-68

國際協力事業團	
受入 月日 84.5/229	000
登録No. 106811	823
	7A

目 次

I	コース名等	1
II	コースの目的	1
III	到達目標	1
IV	研修項目及び研修方法	2
V	研修員参加資格要件	3
VI	研修実施体制及び運営	5
VII	研修施設	5
VIII	研修教材、資機材	6
IX	研修付帯プログラム	8
X	研修の評価	9
	付録-1 研修日程	10
	付録-2 関係者リスト	16
	付録-3 国別参加実績表(集計中)	19
	付録-4 研修員リスト	20

JICA LIBRARY



1008795(5)

昭和58年度農地水資源開発コース実施要領

I コース名等

- 1 和 文 : 農地水資源開発コース
英 文 : Agricultural Land and Water Resources Development Course
- 2 研修期間 : 昭和58年7月7日～9月10日
- 3 定 員 : 16名(但し, 58年度は20名で実施する)

II コースの目的

1 コースの目的

農地水資源開発及びかんがい排水分野で10年程度の経験を有する上級専門技術者研修を目的とし、日本におけるかんがい排水、圃場整備等に関する技術を紹介するとともに、これら事業の企画立案(計画、設計及び施工等)の能力向上をはかることに主眼をおき、そのための日本の農業の現状およびその背景、土地改良事業の計画基準並びに設計基準等の説明及び土地改良事業施設の管理と水管理について講義と実習を通じて理解させることを目的とする。

■ 到達目標

- 1 世界各国の農地水資源開発事業、かんがい排水事情を理解させる。
- 2 日本の土地改良事業及びその制度を理解させる。
- 3 土地改良事業に関する調査法、計画手法を理解させる。
- 4 農村総合整備の考え方、プロジェクトの経済評価手法を理解させる。
- 5 計画、評価等への電算機(コンピューター)の利用法と実際について理解させる。
- 6 水理学の応用、地下水資源の採集利用等について理解させる。

7 畑地かんがい，農地造成，頭首工，ダムに関する計画設計手法等を理解させる。

8 畑場整備のあり方，末端水管理の実際及び農民組織とその活動内容について理解させる。

以上研修員が，修得した知識及び技術をもとに自国においてその国の農地水資源開発と土地改良事業等の分野でより一層のリーダーシップが発揮できるよう本コースの研修を実施運営する。

N 研修項目及び研修方法

1 研 修 項 目

1) 講 義 科 目

- (1) 日本農業の概要と農政
- (2) 日本の土地改良事業
- (3) 日本の土地改良事業制度
- (4) 世界のかんがい
- (5) 土地改良事業の調査，計画
- (6) 農村総合整備
- (7) 経 済 評 価
- (8) 電 算 演 習
- (9) 応 用 水 理 学
- 01 水田の用排水計画
- 02 畑地かんがい
- 03 農 地 造 成
- 03 頭 首 工
- 04 ダ ム
- 05 畑 場 整 備
- 09 末 端 水 管 理

00 農民組織とその活動

03 地下水資源

09 海外の事業実施例、計画例

09 海外農業協力

2) 現地研修項目

国営土地改良事業，農用地開発事業

2) 研修方法

本コースの研修は講義，討議，現地研修及び報告書作成等で構成される。

1) 講義は冊子に記載されている講義テキストに基づいて行い適宜映写フィルム，スライド等を使用して理解を深めさせる。

2) 現地研修においては自然，農業条件の異った東北，東海，近畿地方を回り国営土地改良事業，農用地開発事業に関し現場説明と現場視察を行う。

3) 現地研修終了後，研修員の理解を深めるため現地研修検討会を開く。

V 研修員参加資格要件

1) General Information に規定する応募条件

1) 正式手続により応募国政府から推薦された者であること。

2) 以下の2条件のうち少なくとも1条件を満たす者。

(1) 農地水資源開発の分野で中央政府もしくは地方政府管下に所属する上級の農業土木技術者あるいはそれと同等の者。

(2) かんがい排水分野で10年以上の実務経験を有する大学卒の者。

3) 年齢は45才以下であること。

4) 英語での研修に支障をきたさない語学力を有する者。

4) 研修の履修に必要なして十分な健康者であること。

但し，妊婦は適格者として認められない。

2 人 選 方 法

前記資格要件を満たす者につき、農林水産省経済局国際協力課、同省構造改善局設計課及び国際協力事業団の間で協議し人選決定する。

3 割 当 国

バングラデシュ、ビルマ、インドネシア、マレーシア、パキスタン、フィリピン、スリランカ、タイ、中国、アルジェリア、エジプト、スーダン、ギニア、タンザニア、ブラジル、ドミニカ(共)、ホンジュラス、パラグアイの18カ国。

Ⅵ 研修実施体制及び運営

1 コース運営の仕組

コース全体の運営及び研修計画については農林水産省構造改善局設計課が企画・立案し、同省経済局国際協力課及び国際協力事業団の合意を得たうえで実施する。

2 国際協力事業団は研修を実施するにあたり韓国農業土木総合研究所と研修委託契約を締結する。

Ⅶ 研 修 施 設

1 研 修 委 託 先

受入先： 韓国農業土木総合研究所

住 所： 〒105 東京都港区虎ノ門1-21-17

虎ノ門NNビル Tel. 03-502-1387

2 主 な 研 修 場 所

1) 農業土木会館 5階会議室

住 所： 東京都港区新橋5-34-4

Tel. 03-434-0461

2) 農林水産省経済局海外中央研修室

住 所： 東京都千代田区霞ヶ関1-2-1

Ⅵ 研修教材、資機材

1 講義テキスト

- 1) Outline of Japanese Agriculture**
- 2) Irrigation and Drainage in JAPAN Pictorial**
- 3) Irrigation in the World**
- 4) Irrigation Planning for Paddy Field Drainage Planning
for Field**
- 5) Underground Water Resources**
- 6) Applied Hydraulics**
- 7) Irrigation and Drainage for a Paddy Field**
- 8) Integrated Rural Development Project**
- 9) Fill Type Dam**
- 10) Land Reclamation in Sloping Areas**
- 11) Economic Assessment**
- 12) Dry Field Irrigation**
- 13) An Introduction to Land Consolidation Paddy Field**
- 14) Farming Programme**
- 15) Head Works**
- 16) Designing for Canal Works**
- 17) Execution of Projects in JAPAN**
- 18) Electronic Computer Contributions to Water and
Land Resources Development Engineering**
- 19) Some Technical Cooperation Projects on Irrigation and
Land Consolidation**
- 20) Some Technical Indexes for the Project Planning and
Evaluation of Irrigation Development**

2 使用(予定)フィルム

- (1) Irrigation and Drainage in Japan (日本の灌がいと排水)
- (2) Growing Rice in Japan (日本の稲作)
- (3) Organization and Extention of Agriculture in Japan
(技術の普及と組織)
- (4) Forestry in Japan (日本の林業)
- (5) Fruit and Vegetable Markets in Japan (日本の青果物流通)
- (6) Livestock Industry in Japan (日本の畜産)

3 使用(予定)スライド

- (1) ぼ 場 整 備
- (2) 畑 地 かん がい
- (3) 頭 首 工 の で き る ま で
- (4) 頭 首 工 の 種 類
- (5) 農 地 造 成

K. 研修付帯プログラム

1 集合ブリーフィング

原則として来日翌日にTIC(Tokyo International Center)に於いてブリーフィングを行う。

ブリーフィングの内容は以下のとおりである。

- 1) 滞在費等 allowances の説明
- 2) Form of Register への記入
- 3) Medical Card の発給
- 4) 滞在中の心構え
- 5) その他

2 ジェネラルオリエンテーション

来日後翌週の月曜日からTICに於いて以下の内容のジェネラルオリエンテーションを行う。

- 1) JICA, TICの業務
- 2) よりよい滞日生活
- 3) 日本の文化史
- 4) 日本の経済協力
- 5) 日本の人文地理
- 6) 日本の経済
- 7) 日本の行政機構
- 8) 日本紹介用フィルム

3 コースオリエンテーション

ジェネラルオリエンテーション終了後の翌週の月曜日にコースの開講式を行う。開講式後コースオリエンテーションを行い、全体研修日程、研修旅行日程等の説明を行う。

X 研修の評価

- 1 各国の農地水資源開発の比較研究をねらいとして、各研修員からカントリーレポートを基に情勢報告させる。カントリーレポートの内容は次の13項目から2項目選択させることにしている。
 - (1) 農業及び作物栽培事情
 - (2) 圃場かんがい施設の計画と設計
 - (3) (広義の)水管理と配水システム
 - (4) 水管理施設の保守管理の農民組織
 - (5) 農業普及サービス及び農業協同組合組織
 - (6) プロジェクト便益の推計及び妥当性
 - (7) 便益計画の保償政策
 - (8) 農業開発プロジェクトの特徴
 - (9) 農業開発プロジェクトに関する政府機構及び予算システム
 - (10) 土地保有システムと水(権利)法の特徴
 - (11) 海外からの技術援助受入政策
 - (12) 農業土木分野の教育制度及び組織
 - (13) 水田圃場における用水積算方法
- 2 中間時に現地研修旅行について評価会を開き、理解度を確認するとともに問題点を把握し研修旅行の内容の改善に向ける。
- 3 研修に関する最終評価は研修員のファイナルレポート等を参考にして評価会を開き、研修の成果を検討し今後の研修の改善に資するものとする。

1) 昭和58年度農地水資源開発研修日程表

		午前 (10:00~12:00)			午後 (13:30~15:30)		
月・曜日	研修名	講師	場所	研修名	講師	場所	
7. 7 木	米 日						
8 金	JICAオリエンテーション		TIC			TIC	
9 土	Free						
10 日							
11 月	JICAオリエンテーション		TIC			TIC	
12 火			"			"	
13 水			"			"	
14 木			"			"	
15 金			"			"	
16 土	Free						
17 日							
18 月	開 講 式		MAFF 中央研修所	コース・オリエンテーション		MAFF 中央研修所	
19 火	日本の開発の概況と概論	小林 英一郎	"	映 画		"	
21 水	日本の土地改良事業	児井 聡	"	問 答		"	
21 木	日本の土地改良事業制度	佐藤 昭 郎	"	問 答		"	

午前 (10:00~12:00)		午後 (13:30~15:30)				
月日・曜日	講義名	講師	場所	講義名	講師	場所
7.22 金	世界のかんがい	福田 仁 彦	MAFF 中央研修所	同 在		MAFF 中央研修所
23 土	Free					
24 日	"					
25 月	スタディツアー			スタディツアー		
26 火	東北			東北		
27 水						
28 木						
29 金						
30 土	Free			Free		
31 日						
8. 1 月	スタディツアー エバリーエーション		MAFF 中央研修所	カントリーレポート		MAFF 中央研修所
2 火	土地改良事業の調査・計画	梶井 久	"	同 在		"
3 水	農村総合整備	中島 治 郎	"	同 在		"
4 木	総務評価	宮長 文 夫	"	同 在		"
5 金	電気	小 林 益 高	三船コンサレ	同 在		三船コンサレ
6 土	Free					
7 日	"					
8 月	東京→筑波			筑波 (国際農業研修センター)		TIATIC

		午 前 (10:00~12:00)			午 後 (13:30~15:30)		
月日・曜日	講 義 名	講 師	場 所	講 義 名	講 師	場 所	
8. 9 火	応用水処理	白石 英彦	農士試験場	農業土木試験場		農士 試	
10 水	水田の用水排水計画	湯川 清光	TBIC	同 左		TBIC	
11 木	畑地かんがい	河野 広	TBIC	同 左		TBIC	
12 金	熱帯農業試験場			筑波→東京			
13 土	Free						
14 日							
15 月	カントリレポート		農士会館5F	カントリレポート		農士会館5F	
16 火	農地造成	高橋 新宜	"	同 左		"	
17 水	園芸工	竹内 榮藏	"	同 左		"	
18 木	多	山 宮 昌 彦 郎	"	同 左		"	
19 金	花 壇 整 備	安 富 六 郎	"	同 左		"	
20 土	Free						
21 日							
22 月	水処理管理	江 原 英 彦	農士会館5F	同 左		農士会館5F	
23 火	農民組織とその活動	小 林 秀 雄	"	同 左		"	
24 水	カントリレポート		"	同 左		"	
25 木	カントリレポート		"	同 左		"	
26 金	工場見学	在原 製菓所		同 左			

		午 前 (10:00~12:00)			午 後 (13:30~15:30)		
月日・曜日	講 義 名	講 師	場 所	講 義 名	講 師	場 所	
8.27 土	Free						
28 ④							
29 月	スタディーツアー			スタディーツアー			
30 火	栗池・近畿			栗池・近畿			
30 水							
9.1 木							
2 金							
3 土							
4 ④							
5 月	地下水資源	相場 瑞夫	農工会館5F	スタディーツアー スエーデン		農工会館5F	
6 火	海外の事業実施例・計画例	田内 裕	"	海外農業労働力	栗山 修平	"	
7 水	工場見学	アジテック		同 左	日立製作所		
8 木	感想文			ヨバリーエーゼン 閉		JICA9F	
9 金	帰国準備			同 左			
10 土	帰国						
11 ④							

2) 研修旅行日程

2)-1 東北地方研修旅行日程

旅行期間：7月25日～7月29日(5日間)

目的及び地区名：国営土地改良事業並びに農用地開発事業計画及び施行に関する現地研修

1)母畑開拓建設事業，2)郡山東部開拓建設事業，
3)安積疏水農業水利事業，4)会津(北部，南部)
事業，5)その他関連事業

行程：

- 7月25日(月) 上野～郡山～母畑開拓建設事業地区(千五沢ダム，
配水施設，その他)～郡山(郡山市泊)
- 7月26日(火) 安積疏水農水事業地区(深田調整地，水管理システ
ム，ラバー式頭首工，試験農場その他)～郡山東部
開拓地区～郡山(郡山市泊)
- 7月27日(水) 安積疏水上戸取水口～田取水口～猪苗代湖～裏磐梯
経由～会津若松(会津若松又は東山温泉)
- 7月28日(木) 会津農水事業地区(日中ダム，導水トンネル，頭首
工，用水路，その他)～会津若松(会津若松泊)
- 7月29日(金) 会津若松～東京

2)-2 東海地方研修旅行日程

旅行期間：8月29日～8月31日(3日間)

地区名：1)南知多開拓建設事業所，2)中勢用水事業所，3)木曾
峠干拓，4)土地改良技術事務所

行程：

- 8月29日(月) 東京～名古屋～南知多事業所(概要説明・中食)～
現場(現場視察)～ホテル(名古屋泊)
- 8月30日(火) ホテル～中勢用水事業所(概要説明・中食)～現場

視察～ホテル（津泊）

8月31日（木） ホテル～木曾御干拓事業所（概要説明・現場視察・
中食）～名古屋市内見学～名古屋～京都（京都泊）

2)－3 近畿地方研修旅行日程（東海地方旅行から続く）

旅行期間： 9月1日～9月3日（3日間）

地区名： 1)近畿農政局， 2)土地改良技術事務所， 3)淀川水源調
査事務所， 4)天ヶ瀬ダム

行 程：

9月1日（木） 京都宿舎～近畿農政局（表敬）～土地改良技術事務
所～中食～淀川水源調査事務所～（宇治平等院）天
ヶ瀬ダム～京都（京都泊）

9月2日（金） 宿舎～（柳生）大原高原事業所～都祁団地～奈良
市で中食～（東大寺）～奈良（奈良泊）

9月3日（土） 奈良～東京

付録一 2 関係者リスト

1) 講師リスト

農地・水資源開発研究講義計画

講義名	講義日	時間	講師名	所	属	電話	備考
日本農業の概要と農政	7. 19	10:00~12:00	小林 英一郎	大正信用金庫調整部企画室		EX. 2023	
日本の土地改良事業	20	10:00~12:00 13:30~15:30	荒井 聡	構造改修局設計課課長補佐		EX. 3571	
日本の土地改良事業制度	21	10:00~12:00 13:30~15:30	佐藤 昭 郎	" 水戸課 "		EX. 3583	
世界のかんがい	22	10:00~12:00 13:30~15:30	福田 仁 志	東京大学名誉教授		438-2590	
土地改良事業の調査、計画	8. 2	10:00~12:00 13:30~15:30	増井 久	構造改修局事業計画課課長補佐		EX. 3533	
農政総合調査	3	10:30~12:00 13:30~15:30	中島 浩 郎	" 農 務 課 "		EX. 3621	
融資評価	4	10:00~12:00 13:30~15:30	宮長 文 夫	Morgan Guaranty Trust Company		214-2761	
電氣設備	5	10:00~12:00 13:30~15:30	小林 健 雄	三信コンサルタンツ協		586-7341	
応用水処理	9	10:00~12:00	白石 英 彦	農薬土木試験場企画地絡課長		02975 -6-7503	
水田の排水計画	10	10:00~12:00 13:30~15:00	湯川 浩 光	石川県農業短期大学教授		0762 -6-7552	
畑地かんがい	11	10:00~12:00 13:30~15:30	河野 広	農薬土木試験場農地整備第2研究室長		02975 -6-7552	

講義名	評議日	時 間	講 師 名	所	属	電 話	備 考
農地造成	7. 16	10:00~12:00 13:30~15:30	高橋新直	農用地研究公団指導役		433-0171	
農道工	17	10:00~12:00 13:30~15:30	竹内兼茂	農業土木総合研究所主任研究員		502-1387	
水	18	10:00~12:00 13:30~15:30	宮里哲郎	経済局国際協力課海外技術協力官		EX. 2781	
市場整備	19	10:00~12:00 13:30~15:30	安富六郎	茨城大学農学部教授		02998 -7-1261	
水端水管理	22	10:00~12:00 13:30~15:30	江 原 操	国土庁地方振興局農村整備課補佐		583-8931	
農民組織とその活動	23	10:00~12:00 13:30~15:30	小林芳雄	構造改修局管理課課長補佐		EX. 3433	
地下水資源	9. 5	10:00~12:00	和 場 精 久	“ 農政課 “		EX. 3518	
海外の農業実施例, 計画例	6	10:00~12:00	田 内 均	国際協力事業団農業研究協力部長		346-5251	
海外農業協力	6	13:30~15:30	柳 山 修 平	経済局国際協力課海外技術協力官		EX. 2775	

2) カウンターパート配置計画表

オリエンテーション 7月25日(金)

月日	曜日	講義名	場所	カウンターパート氏名	月日	曜日	講義名	場所	カウンターパート氏名
7.18	月	閉講式		全員	8.22	月	水端水管理		江間 敏介, 田中玄太郎
19	火	日本農業の概観と農政		江間 敏介, 田中玄太郎	23	火	農民組織とセの活動		円山 清久, 内藤久仁彦
20	水	日本の土地改良事業		円山 清久, 内藤久仁彦	24	水	カントリーレポート		中井 雅, 倉盛 啓之
21	金	日本の土地改良事業制度		中井 雅, 倉盛 啓之	25	木	"		山田潤一郎, 吉岡 裕次
22	土	世界のかんがい		山田潤一郎, 吉岡 裕次	9. 3	月	地下水資源		横山 誠一, 横辺 巧
8. 1	月	カントリーレポート		横山 誠一, 横辺 巧	6	火	海外の農業施設・計画例		菅山 拓二, 木田 勝也
2	火	土地改良事業の調査, 計画		菅山 拓二, 木田 勝也	8	木	閉講式		全員
3	水	農村総合整備		丸茂 伸毅, 大橋 光照					
4	木	経営評価		柳畑 正純, 水落 秀典					
5	金	電気講習		志野 尚司, 大野 孝					
15	月	カントリーレポート		井原 昭彦, 山内 勝彦					
16	火	農地造成		相賀 啓尚, 泉原 明					
17	水	販賣工		内藤 謙, 平岩 昌彦					
18	木	ム		大泉 勝利, 上村健一郎					
19	金	会場整備, カントリーレポート		横盛 啓之, 向 弘之					

国別参加実績表(集計中)

国名	48 '73	49 '74	50 '75	51 '76	52 '77	53 '78	54 '79	55 '80	56 '81	57 '82	58 '83	計
アフガニスタン				1	1		1					
アルゼンチン								1				
ビルマ				1			1			1		
バングラデシュ				2			1	1	1	1		
ブラジル					2		1	2	1	1		
ネパール				1	1				1			
インド				1	1							
インドネシア				2	2		1	1	2	2		
フィリピン				1	1		1	2	1	3		
スリランカ				1	1		1	1	1			
タイ				2	1		2	2	1	1		
タンザニア				1	1		1		1			
トリニダード・トバゴ				1	1		1					
マレーシア					1		1	1		2		
パキスタン					1				1	2		
スウェーデン							1	1				
イラン							1					
ホンジュラス							1	1		1		
ジャマイカ							1					
エジプト								1	1	1		
パラグアイ								1				
コスタリカ									1			
ドミニカ									1	1		
計												

LIST OF PARTICIPANTS
AGRICULTURAL LAND AND WATER RESOURCES DEVELOPMENT COURSE

Duration: July 7 - September 10, 1983
Place: Design Division, Agricultural Structure Improvement Bureau, MAFF

No.	Country	Name of Participant (Mr. Mrs. Miss Dr.)	(Age)	Present Post of Participant	Home Address
1	China	Mr. Zhou Ke-qian	44	河南省科學技術委員會助理研究員	河南省鄭州市龍湖路 5 7 號
2	Dominica	Mr. Déalis Perez	33	Chief of the Hydrogeology Section and Director of the "National Plan of Research, Development and Control of Groundwater"	Manzana B #30, Residential Sandra, KM. 11-Carretera Sanchez. Santo DGO., Dominican Republic
3	Dominica	Mr. Reyto Epifanio Abranson DeLa Cruz	38	Representative of Canal Operation, Institute National of Resources Hidráulic	La Religiosa #5, Villa Durate, Santo Domingo
4	Egypt	Mr. Samir Ibrahim Yacoub	40	Irrigation Engineer, Manager of Works Fayoum, Irrigation Department, Ministry of Irrigation	Fayoum-Saad Zaghoul Street, Building of Irrigation Engineering
5	Egypt	Mr. Abdel Meguid Ismail Abdalla	34	Irrigation Engineer, Assistant Manager of Works, Ministry of Irrigation	Zagazig-Wanas Street No. 6 Yosef Bank
6	Guinea	Mr. Bangoura Sourakata	28	Co. Director of Pilot Center for Production of Vegetables and Fruits Project	CEPAM, Dalaba, R.P.R. Guinea
7	Honduras	Mr. Mario René Rodríguez Arceaga	28	Civil Engineer Assistant, Drainage Department, Water Resources Bureau, Ministry of Natural Resources	Col. Kennedy, Casa 9 Bloque 16 Group 15, Zona 1, Tegucigalpa, D.C.

No.	Country	Name of Participant (Mr. Mrs. Miss Dr.)	(Age)	Present Post of Participant	Home Address
8	Indonesia	Miss Rosna Agoes	37	Head of Design Unit, Water Resources Development Section, Public Service Office in West Sumatra	Jl. Batang Tarusan No. 1 Padang
9	Indonesia	Mr. Syarifwan Syafar	31	Staff, Water Resources Development Section, Public Works Office of Jambi Province	Jl. Depan Puskesmas No. 6 Simpang Kawat Jambi
10	Malaysia	Mr. Mohd B. Che Hussein	28	Research Officer, Malaysian Agricultural Research and Development Institute, Ministry of Agriculture	2340, Taman Paduka, Kubang Kenian, Kota Bharu, Kelantan, Malaysia
11	Paraguay	Mr. Miguel Angel Lequizamono Franco	31	Supervisor of Construction Works, Entidad Binacional Yacyreta	Villa Permanente, Ayolas
12	Philippines	Mr. Rodelio de Guzman	27	Farmers Organization Specialist, Farm Systems Development Corporation	Poblacion, San Antonio, Nueva Ecija
13	Sri Lanka	Mr. Panchi Hewa Kankanange Dayaratna	43	Block Manager, Mahaweli Authority	P.H.K. Dayarama, No. 145/5, Ketawalammulla, Colombo-09
14	Sudan	Mr. Abdel Rahim Ahmed Hussein	36	Chief Design Engineer, Ministry of Irrigation	Wad Medani, Sudan
15	Thailand	Mr. Apichart Amatavavagul	32	Agricultural Engineer, Design and Construction, Department of Agricultural Land Reform	313 Sukkapiban 1 Rd. Klongjan, Banggapi, Bangkok
16	Thailand	Mr. Suporn Suwanwattana	34	Civil Engineer, Agricultural Land Reform Office, Ministry of Agriculture and Cooperatives	9/23A, Soi, Somboonpatana 2, Phachasongk Road, Huaykwang, Bangkok

No.	Country	Name of Participant (Mr. Mrs. Miss Dr.)	(Age)	Present Post of Participant	Home Address
17	Tanzania	Mr. Agehard Galikan Ruahansa	30	Assistant Executive Engineer, Principal Secretary, Ministry of Agri- culture	Irrigation Division, P.O. Box 919, Dar Sallam
18	Philippines	Mr. Elizar Malazarte	36	Senior Engineer, NIA, EDSA	11 - 20th Avenue Cubao, Quezon City
19	Pakistan	Mr. Amir Nawaz Khan	44	Water Management Engineer, Ministry of Food and Agriculture	
20	Philippines	Ms. Zenaida Salazar Sinios	30	Engineer, National Irrigation Administ- ration, EDSA	55, Antipolo Street Passy, Metro Manila
(Observer)					
(21)	Kenya	Mr. Simon Migera Nathambiri Kariuki	28	Provincial Hydrologist, Ministry of Water Development	P.O. Box 353, Embu, Kenya

